

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期																参考文献
2	ハチクマ Pemis apivorus	ワシタカ目 ワシタカ科	飛翔中、頭部がペン先のように細長く突出する、翼の非常に長いタカ。ユーラシア大陸の亜寒帯から温帯と、インドから東南アジアにかけて広く繁殖地を持つ。日本では、夏鳥として渡来後、通常本州以北で繁殖する。東南アジアで越冬する。	低山や丘陵の林に棲み、ハチの幼虫やさなぎを好んで食べるが、カエルやヘビもとる。地中にある地バチの巣を見つける特技には感心する。持ち前の丈夫な脚でそれを掘り起こすという。密生した羽毛と脚を覆ううろこがハチの攻撃から身を守る。また、ハチの毒に対する免疫を持っているとも云われる。稀に低空飛行をする。	繁殖期には巣の近くで「ビィヨー」と大きな声をよく出す。また、繁殖期が終わった9月頃に2～5羽位の群れとなって、上空を帆翔しながら「ピィヨピィヨー」と鳴き交わしているのが、しばしば観察される。オスとメス、あるいは家族連れのように思われる。	観察した限りでは、オスは顔が灰色で目が黒く、メスは顔が褐色で目が黄色だった。下面の色も模様も個体差が大きいが、翼が初列風切まで十分幅広くて長いこと、翼前縁から突出する頭部が細長いことは本種の際だった特徴である。		・		・		・		・	5	6	7	8	9	10	・	・	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社